



平成20年12月12日

新 宮 ロータリークラブ

## 親 睦 職 場 訪 問

### 11月7日～8日親睦職場訪問大塚製薬徳島工場

目的はクラブの職業奉仕への理解と親睦を深めることです。

今年度の木下会長はクラブの活性化の基本は親睦であるとの認識で取り組んで頂きまして総勢38名という例年以上の参加を頂きました。

一日目は早朝6:30に熊野交通の新型バスで出発、田辺を経て和歌山港よりフェリーで徳島港に着きました。船内では2日間の日程について、話が盛り上がり2時間の乗船もあっという間でした。

大塚製薬徳島工場にて昼食を頂き、早速オロナミンC・ポカリスエットの工場の製造過程を見学しました。24時間稼働で原料の入荷から製品の出荷まで全てコンピューターによって自動化されており社員の方は数名でした。企業理念は食は心に始まり「美味・安全・安心健康」を創ることで、品質管理や環境対策に力を入れていることを感じました。

3時過ぎには徳島公害の板野工場にて栄養食品SOYJOYの製造過程を見学しました。板野工場では自然と共生する最新工場として2008年に製造を開始したそうです。「人と環境に優しい工場・地域に開かれた工場」をテーマに自然のままの大地の起伏と自然林を残した公園スタイルの工場でした。野外ステージにおいて音楽フェスティバルを催しているそうです。見学の前に工場の説明があり、おわりに5階の会場の正面のカーテンが開くやいなや、徳島市の前景が周りの緑と同時に眼に飛び込んできました。まさに映画のスクリーンでした。

市内で夕食をとり阿波踊り会館へと進みました。会館は徳島市を一望できる眉山頂上へのロープウェイの山麓駅であり、阿波踊りのミュージアムになっています。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損そん」と夕食での満腹感を消化しようと皆で踊りました。

2日目は大塚国際美術館への観光組とゴルフ組とに分かれて行動し、午後3時に合流しました。帰りのフェリー内は美術館の感想やゴルフの成績等で話の花が咲きました。

和歌山市内でゆっくりと夕食をとり、新宮への道中車内で「眉山」のビデオを観ながら、今回の徳島での職場訪問を振り返りました。

大切なのは「職業の大小に関わらず、お客様に安心して頂く事なんだ」と思いました。これからもお客様の立場になって考えながら仕事に従事していくことを再確認しました。2日の短い間でしたが、職業奉仕として得るものが多く、又会員通しの親睦も一層深まったのではないかと思います。

広報委員長 西 博之